

宮 城 県 の 経 済 動 向  
平成 2 5 年 第 4 四 半 期  
(10 月 ~ 12 月 期)

# I 本県の経済概況

## 平成 25 年第 4 四半期（10 月～12 月期）の宮城県経済の動向

東日本大震災（以下「震災」という。）からの回復が続いているものの、その動きに足踏みがみられる。

- ・生産：震災の影響があるなかで、持ち直しの兆しがみられる。
- ・住宅投資：横ばい傾向の動きとなっている。
- ・公共投資：横ばい傾向であるが弱含んでいる。
- ・個人消費：弱い動きとなっているが、一部に持ち直しの兆しがみられる。
- ・雇用：求人倍率は高水準で推移している。
- ・企業倒産：小康状態が続いている。

### 生産

鉱工業生産指数は、前期比が 2 期ぶりの上昇となった。前年同期比は 2 期ぶりの上昇となった。

大口電力使用量は、前年同期比が 7 期連続の上昇となった。

### 住宅投資

新設住宅着工戸数は、前年同期比が持家は 2 期連続の減少、貸家は 8 期連続の増加、分譲住宅は 2 期連続の減少となった。

全体では 10 期連続の増加となった。

### 公共投資

公共工事請負金額の発注主体別の前年同期比は、県は 4 期連続の減少、国は 4 期連続の減少、市町村は 9 期ぶりの減少となった。

全体では 2 期連続の減少となった。

### 大型小売店

大型小売店販売額（百貨店・スーパーの販売額の合計。既存店比較）は、前年同期比が 6 期連続の減少となった。衣料品は 6 期連続の減少、身の回り品は 3 期連続の減少となった。

### 自動車

軽自動車の新車届出台数を含む乗用車新車登録台数は、前年同期比が 6 期ぶりの増加となった。車種別の前年同期比は、普通車は 6 期ぶりの増加、小型車は 6 期ぶりの増加、軽自動車は 2 期連続の増加となった。

### 物価

仙台市消費者物価指数（平成 22 年＝100）は、総合指数は前期比が 4 期連続の上昇となり、前年同期比は 3 期連続の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は前期比が 3 期連続の上昇となり、前年同期比は 3 期連続の上昇となった。

### 雇用

有効求人倍率（原指数）は、前年同期差が 15 期連続の上昇となった。新規求人倍率（原指数）は、前年同期差が 16 期連続の上昇となった。

### 企業倒産

企業倒産は、件数は前年同期比が 2 期ぶりの増加となった。負債総額は前年同期比が 2 期ぶりの増加となった。

## Ⅱ 主な指標の動き

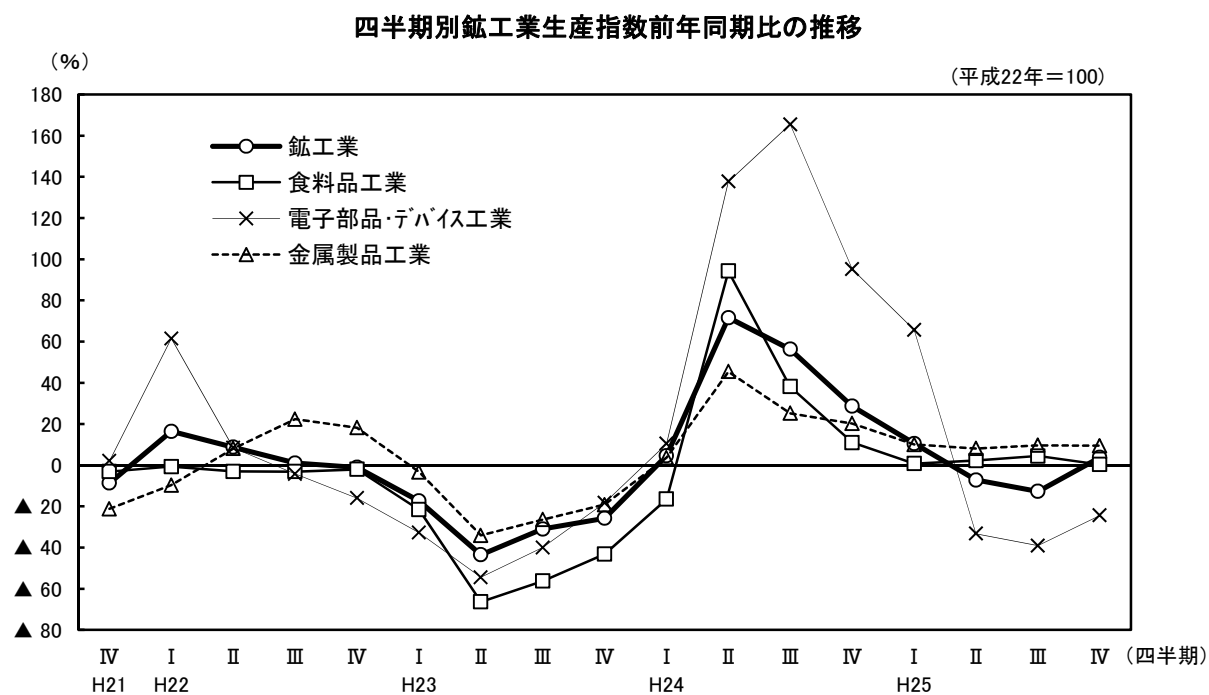
### 1 生産

#### (1) 鉱工業生産指数

平成25年第4四半期(10月～12月期)の鉱工業生産指数(季節調整済)は96.6(平成22年=100)で、前期比が6.6%の上昇となり、3期ぶりの上昇となった。

ウェイトの大きい業種を中心にみると、電子部品・デバイス工業は前期比が9.7%の上昇となり、2期連続の上昇となった。食料品工業は前期比が10.3%の低下となり、2期連続の低下となった。生産用・業務用機械工業は前期比が57.3%の上昇となり、2期ぶりの上昇となった。化学、石油・石炭製品工業は前期比が14.6%の低下となり、3期ぶりの低下となった。パルプ・紙・紙加工品工業は前期比が4.1%の低下となり、2期連続の低下となった。

前年同期比(原指数での比較)では3.8%の上昇となり、3期ぶりの上昇となった。

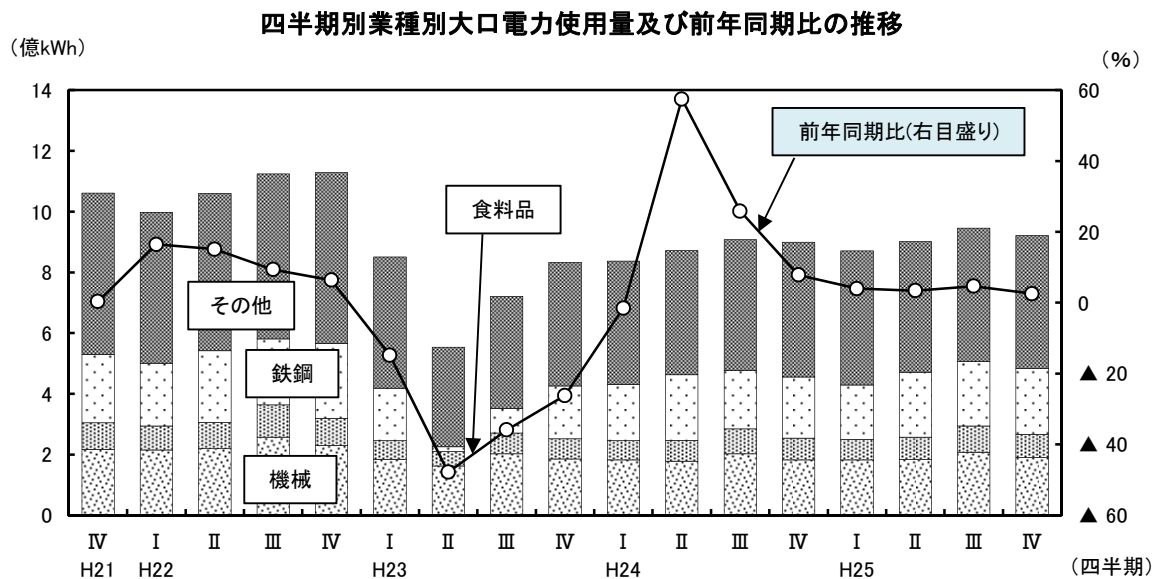


(資料:宮城県統計課)

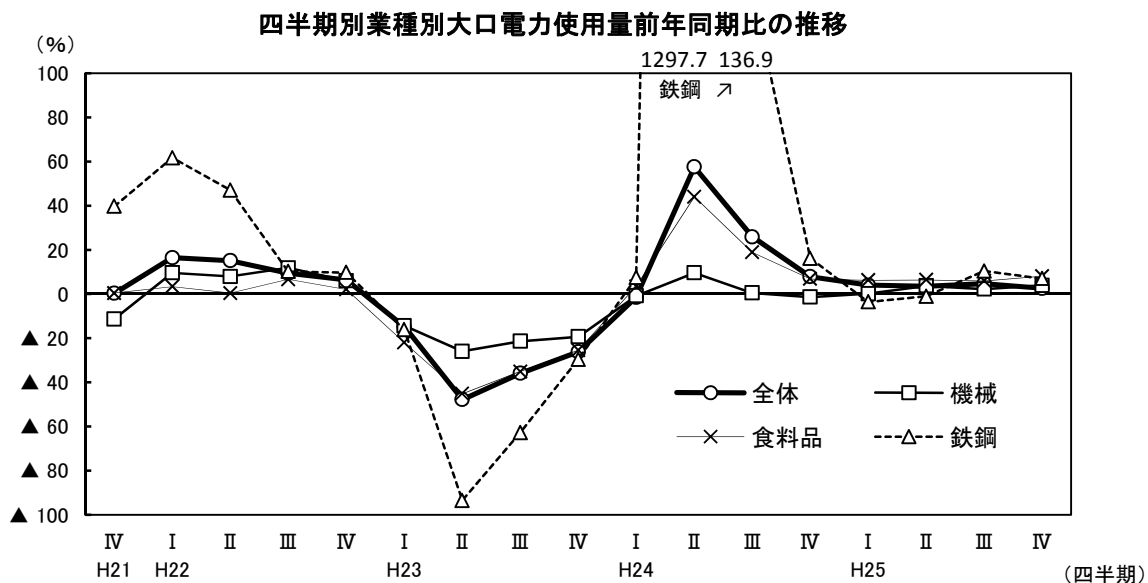
## (2) 大口電力使用量

平成 25 年第4四半期(10月～12月期)の大口電力(契約電力 500KW 以上)使用量は9億 2,121 万 KWh で、前年同期比が 2.5%の上昇となり、7期連続の上昇となった。

主要業種別にみると、食料品分野は前年同期比が 8.1%の上昇となり、8期連続の上昇となった。機械分野は前年同期比が 3.9%の上昇となり、4期連続の上昇となった。鉄鋼分野は前年同期比が 7.0%の上昇となり、2期連続の上昇となった。



(資料:(株)東北電力宮城支店「業務資料」)



(資料:(株)東北電力宮城支店)

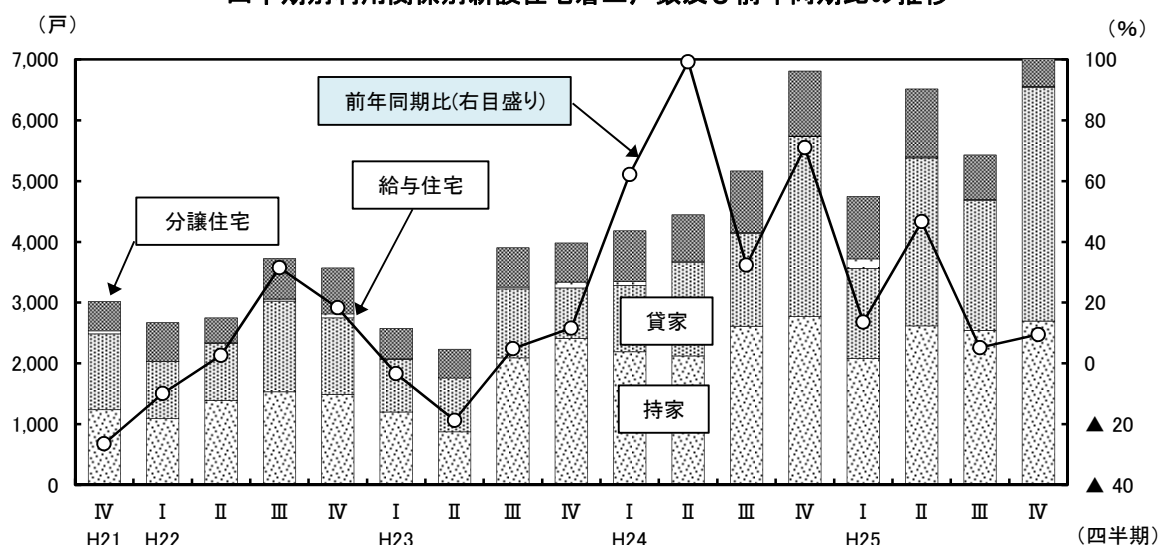
## 2 建設投資

### (1) 新設住宅着工戸数

平成25年第4四半期(10月～12月期)の新設住宅着工戸数は7,461戸で、前年同期比が9.5%の増加となり、10期連続の増加となった。

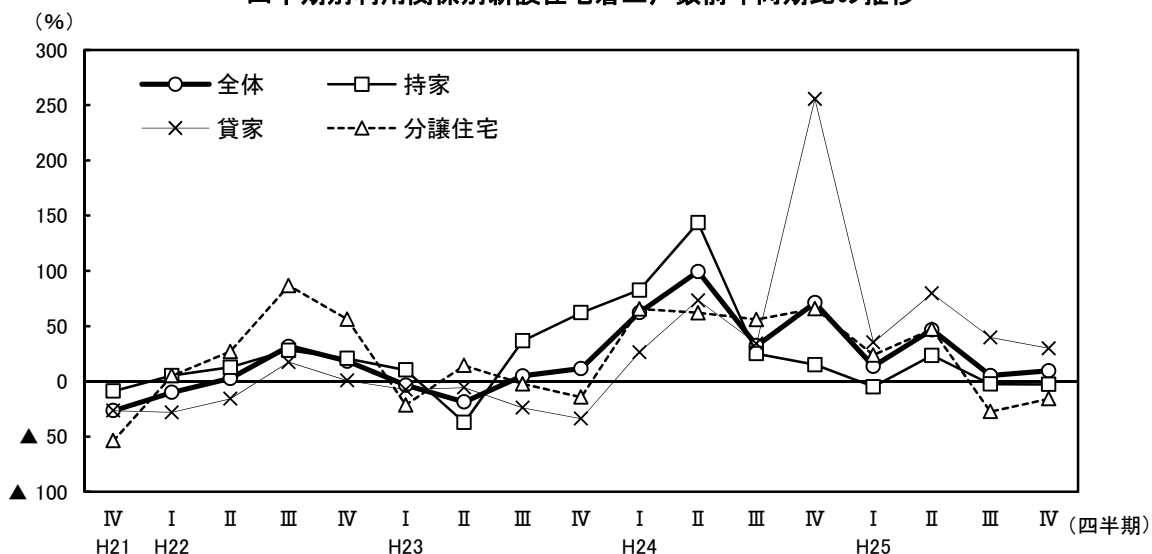
利用関係別にみると、持家(建築主が自分で居住する目的で建築するもの)は前年同期比が2.7%の減少となり、2期連続の減少となった。貸家(建築主が賃貸する目的で建築するもの)は前年同期比が29.8%の増加となり、8期連続の増加となった。分譲住宅(建売または分譲の目的で建築するもの)は前年同期比が15.9%の減少となり、2期連続の減少となった。

四半期別利用関係別新設住宅着工戸数及び前年同期比の推移



(資料:国土交通省)

四半期別利用関係別新設住宅着工戸数前年同期比の推移

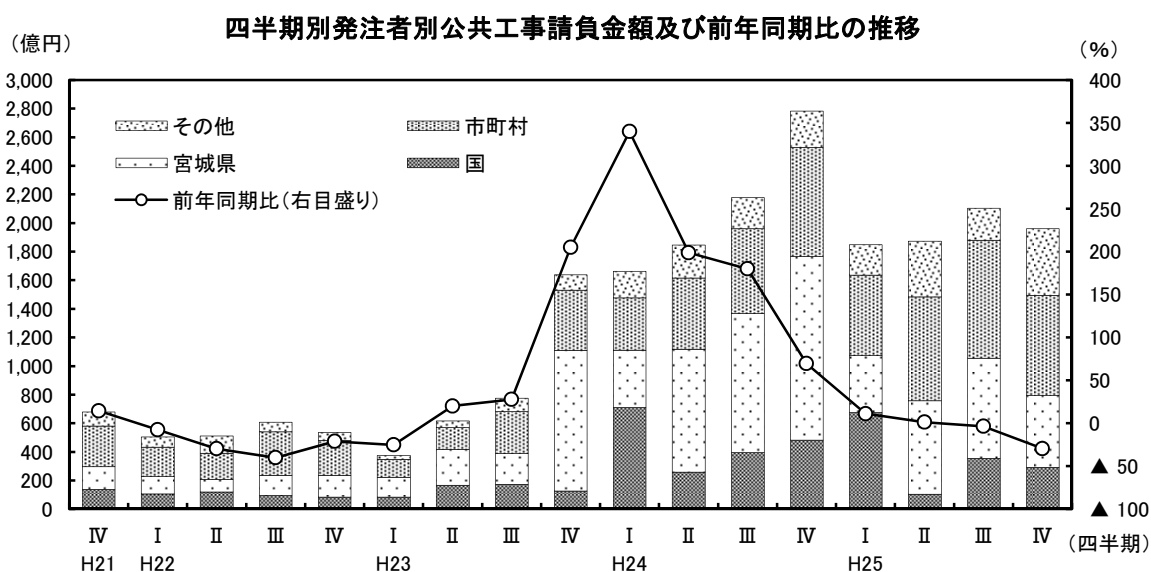


(資料:国土交通省)

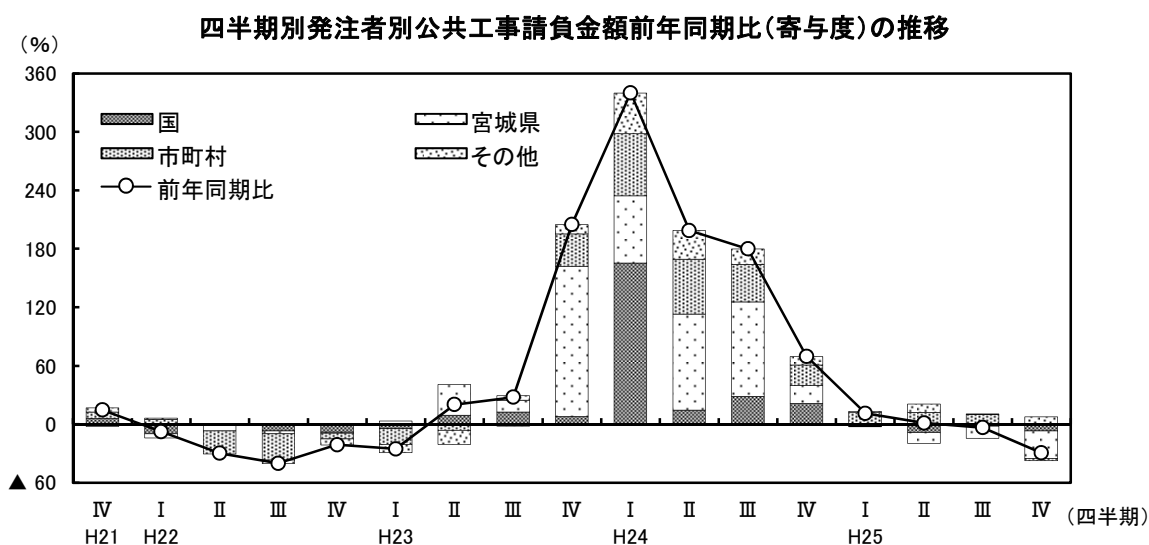
## (2) 公共工事請負金額

平成 25 年第 4 四半期(10 月～12 月期)の公共工事請負金額は 1,962 億円で、前年同期比が 29.5%の減少となり、2 期連続の減少となった。

発注者別にみると、国は前年同期比が 39.3%の減少となり、4 期連続の減少となった。宮城県は前年同期比が 60.8%の減少となり、4 期連続の減少となった。市町村は前年同期比が 8.6%の減少となり、9 期ぶりの減少となった。



(資料: 東日本建設業保証(株))



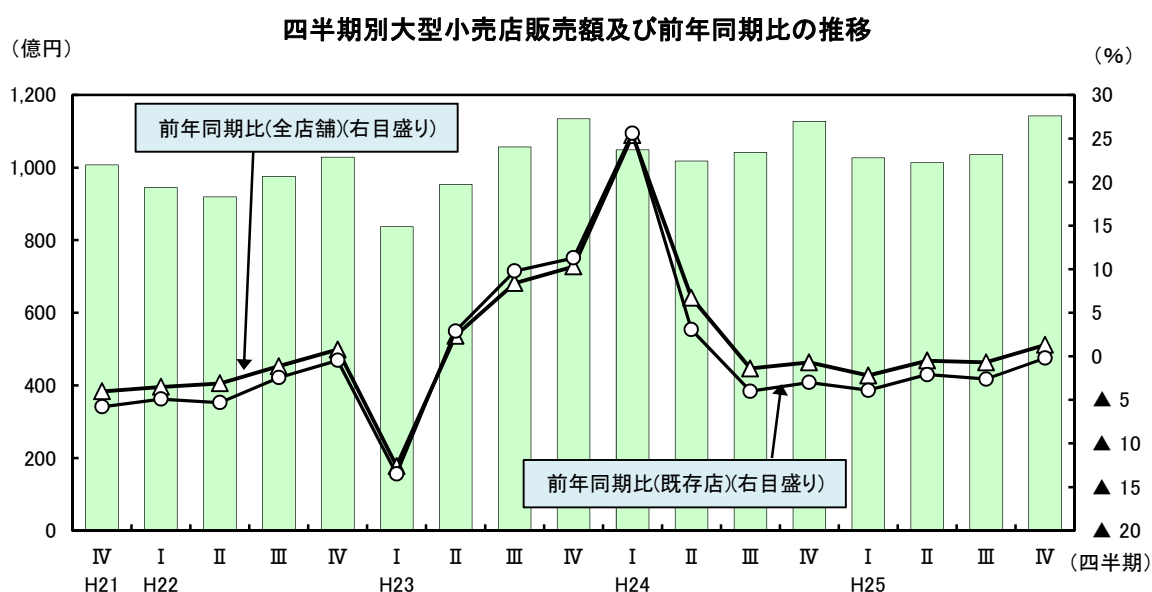
(資料: 東日本建設業保証(株))

### 3 個人消費

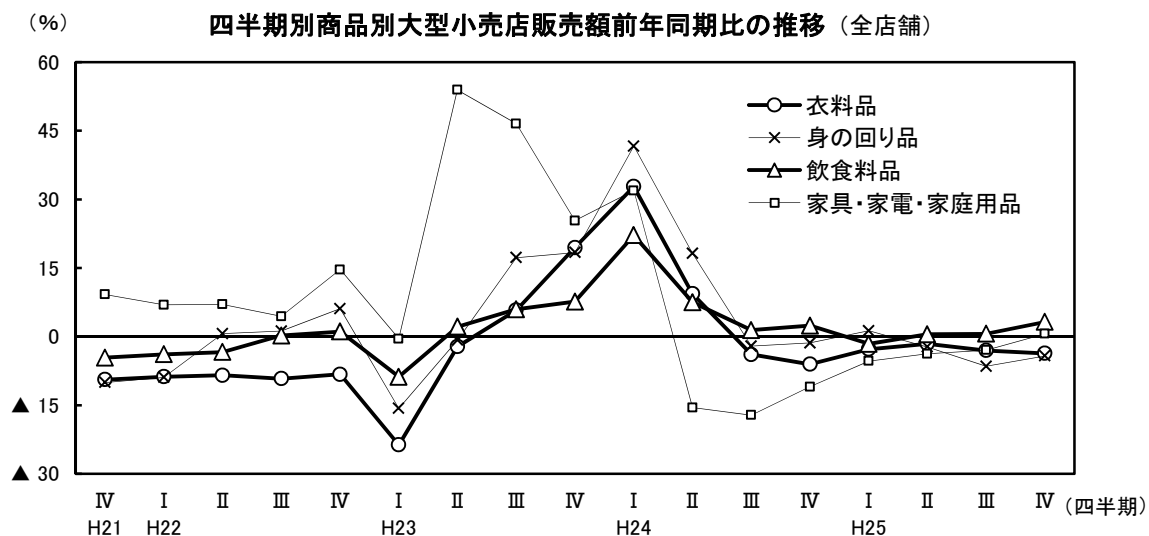
#### (1) 大型小売店販売額

平成 25 年第 4 四半期 (10 月～12 月期) の大型小売店販売額は 1,141 億 9,100 万円で、前年同期比 (既存店比較) が 0.2% の減少となり、6 期連続の減少となった。全店舗比較の前年同期比は 1.3% の増加となり、6 期ぶりの増加となった。

商品別にみると、衣料品は前年同期比が 3.7% の減少となり、6 期連続の減少となった。身の回り品は、前年同期比が 4.2% の減少となり、3 期連続の減少となった。家具・家電・家庭用品は、前年同期比が 0.6% の増加となり、7 期ぶりの増加となった。一方、飲食料品は、前年同期比が 3.2% の増加となり、3 期連続の増加となった。



(資料: 東北経済産業局)



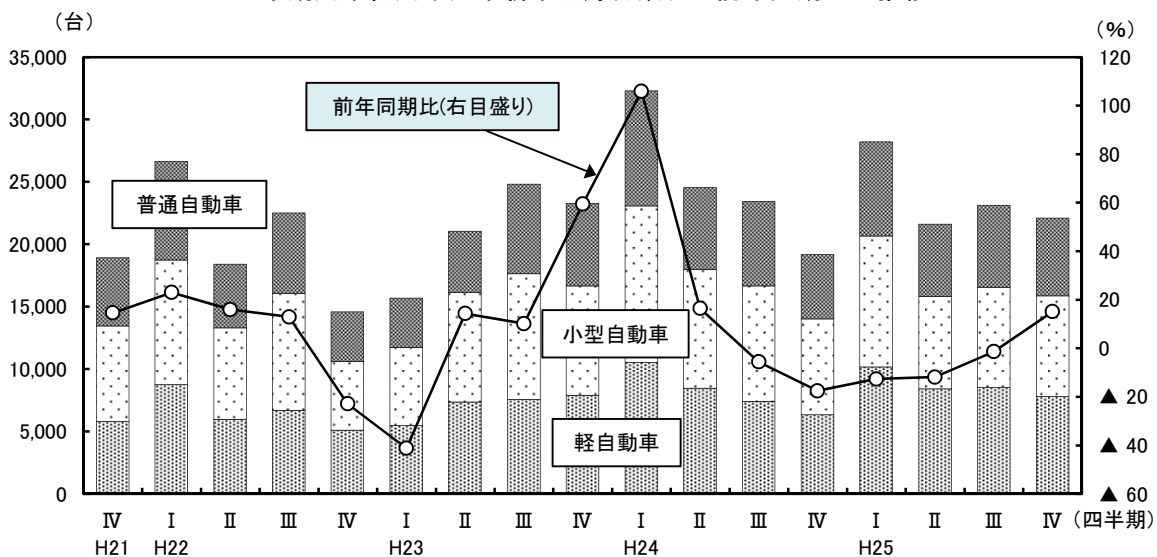
(資料: 東北経済産業局)

## (2) 乗用車新車登録台数

平成25年第4四半期(10月～12月期)の軽自動車の新車届出台数を合わせた乗用車新車登録台数は2万2,090台で、前年同期比が15.1%の増加となり、6期ぶりの増加となった。

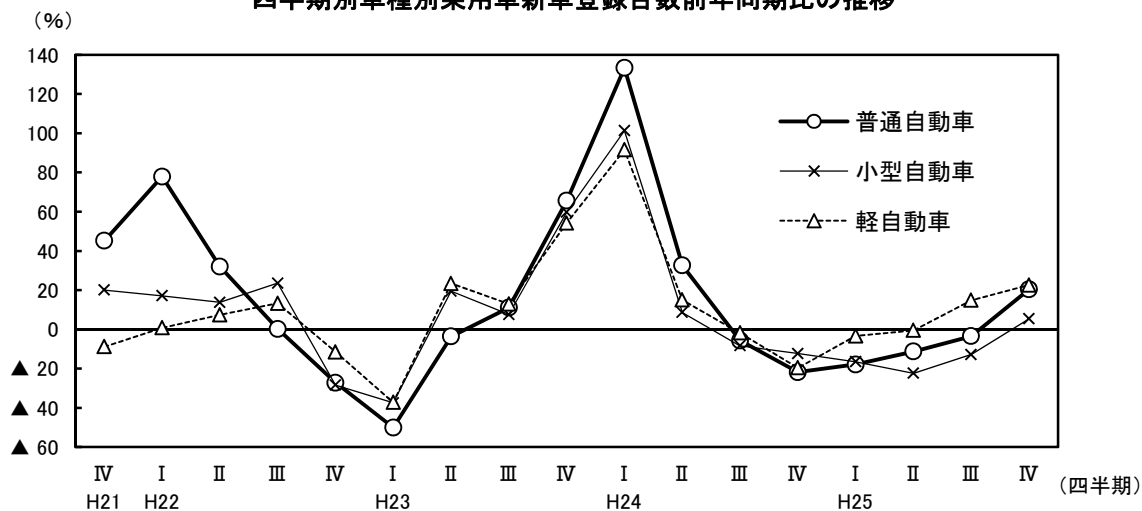
車種別にみると、普通車は前年同期比が20.4%の増加となり、6期ぶりの増加となった。小型車は前年同期比が5.3%の増加となり、6期連続の増加となった。軽自動車は前年同期比が22.6%の増加となり、2期連続の増加となった。

四半期別車種別乗用車新車登録台数及び前年同期比の推移



(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部,全国軽自動車協会連合会)

四半期別車種別乗用車新車登録台数前年同期比の推移



(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部,全国軽自動車協会連合会)

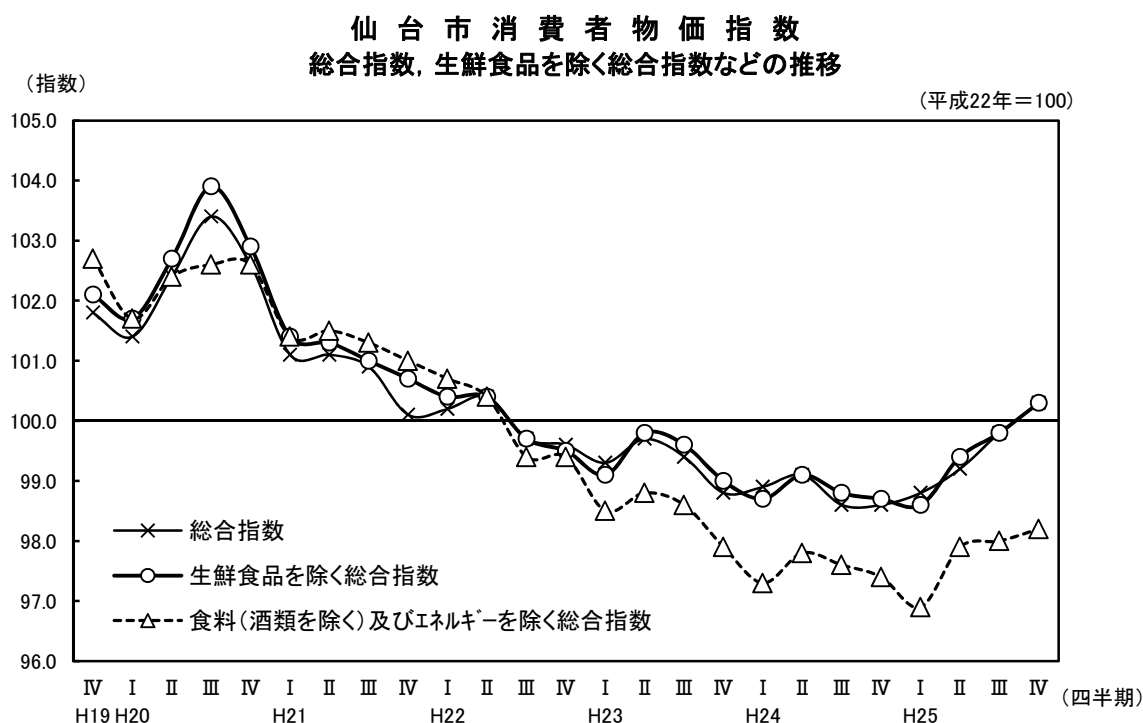


## 4 物 価

### 消費者物価指数

平成 25 年第 4 四半期(10 月～12 月期)の平均仙台市消費者物価指数(平成 22 年=100)は、総合指数は 100.3 で、前期比が 0.5%の上昇となり、4 期連続の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は 100.3 で、前期比が 0.5%の上昇となり、3 期連続の上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は 98.2 で、前期比が 0.2%の上昇となり、3 期連続の上昇となった。

前年同期比では、総合指数は 1.7%の上昇となり、3 期連続の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は 1.6%の上昇となり、3 期連続の上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は 0.8%の上昇となり、3 期連続の上昇となった。



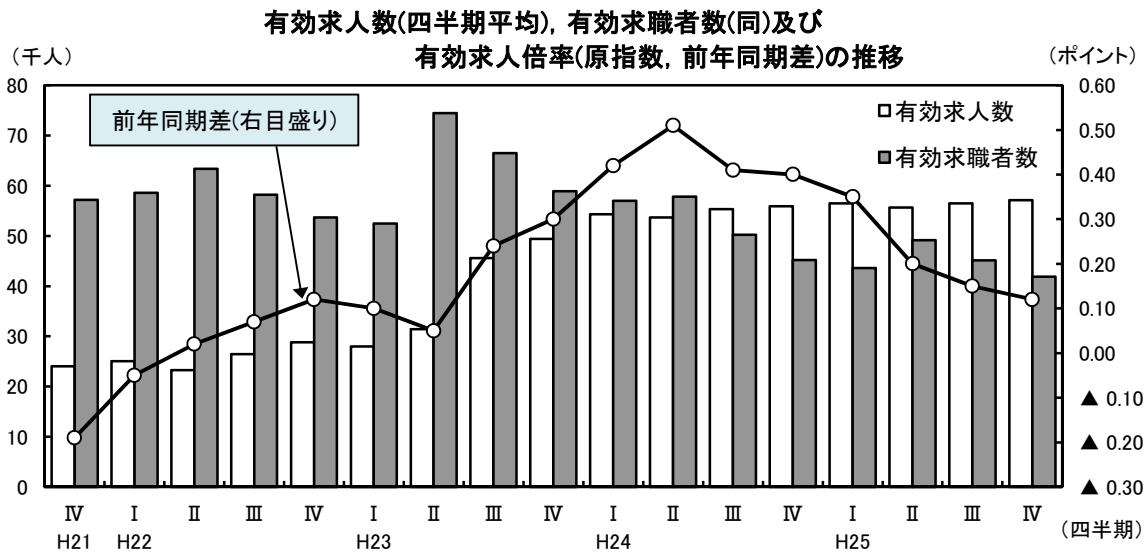
(資料:宮城県統計課)

## 5 雇 用

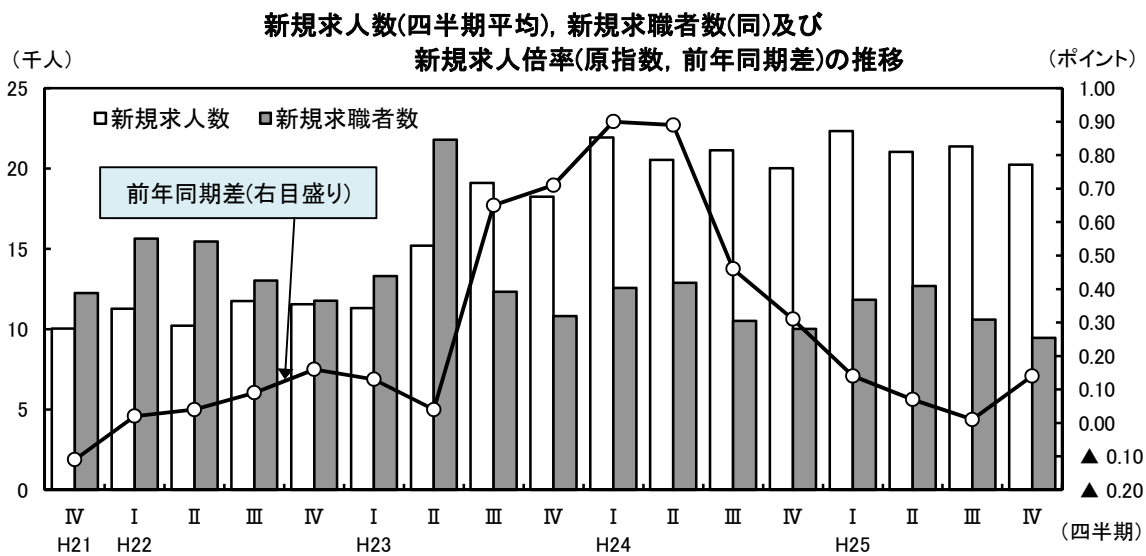
### 有効求人倍率及び新規求人倍率

平成 25 年第 4 四半期(10 月～12 月期)の有効求人人数(月平均値)は5万 7,101 人で、前年同期比が 2.2%の増加となった。有効求職者数(同)は4万 1,912 人で、前年同期比が 7.3%の減少となった。有効求人倍率(原指数)は 1.36 倍で前年同期差は、0.12 ポイント上昇し、15 期連続の上昇となった。

新規求人人数(月平均値)は2万 238 人で、前年同期比が 1.1%の増加となった。新規求職者数(同)9,467 人で、前年同期比が 5.6%の低下となった。新規求人倍率(原指数)は 2.14 倍で前年同期差は、0.14 ポイント上昇し、16 期連続の上昇となった。



(資料:宮城労働局)



(資料:宮城労働局)

## 6 倒産

### 企業倒産

平成25年第4四半期(10月～12月期)の宮城県内の企業倒産(負債総額1千万以上)の件数は24件で、前年同期比が33.3%の増加となり、2期ぶりの増加となった。

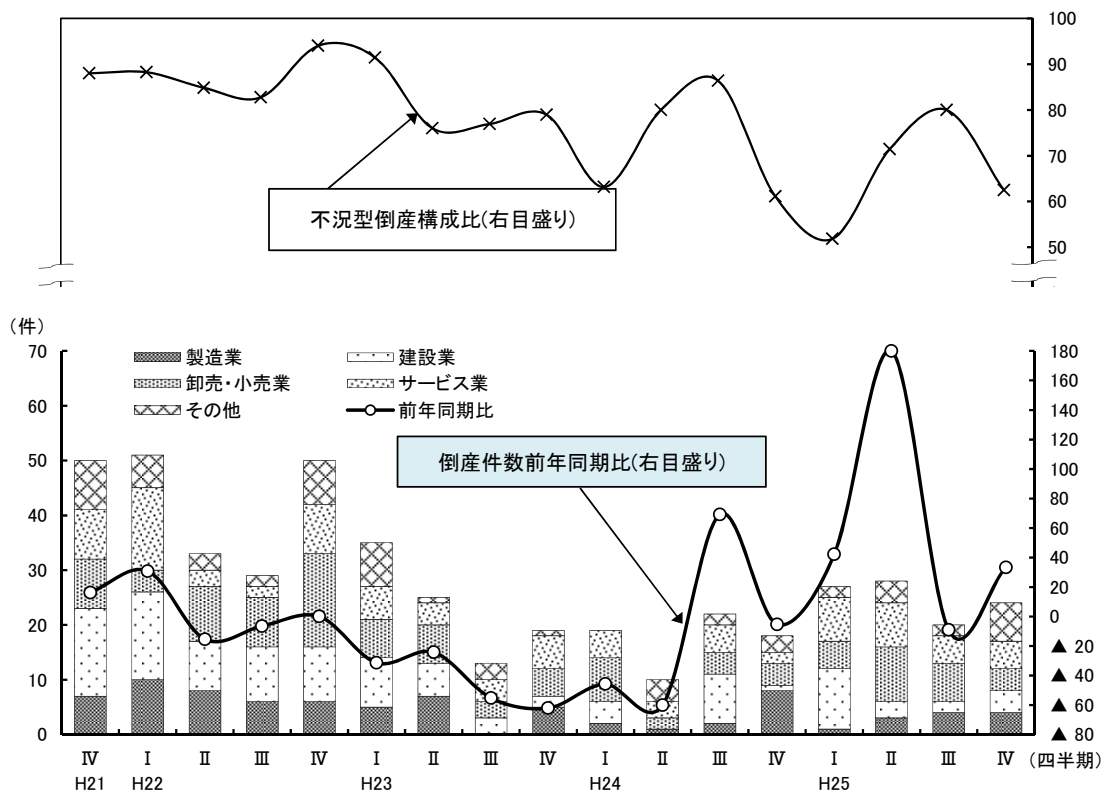
負債総額は52億8,000万円で、前年同期比が209.7%の増加となり、2期ぶりの増加となった。

これらのうちの不況型倒産(販売不振, 売掛金回収困難, 赤字累積)の件数は15件で、2期ぶりの増加となった。件数の構成比は62.5%で、前年同期より1.4ポイントの増加となった。

大型倒産(負債総額10億円以上)は1件で、負債総額は13億円であった。

四半期別倒産件数及び前年同期比と不況型倒産構成比の推移

(%)

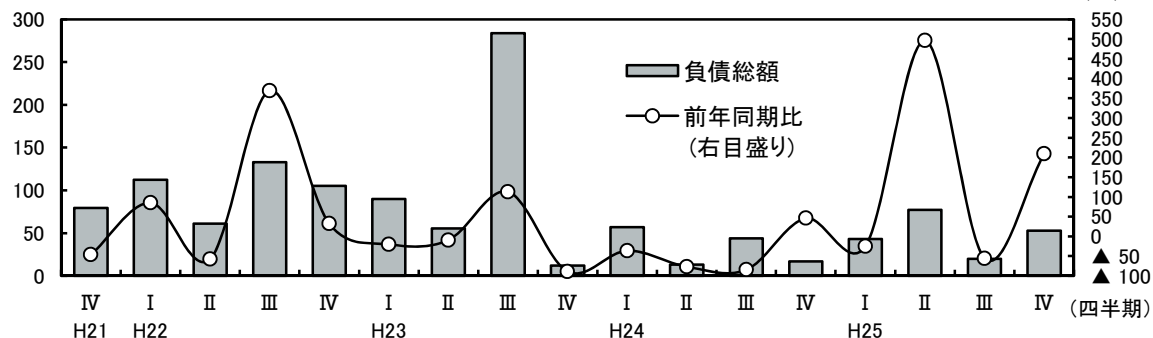


(資料:(株)東京商工リサーチ)

四半期別倒産の負債総額及び前年同期比の推移

(億円)

(%)



(資料:(株)東京商工リサーチ)

